

| | | | |
|---|--------------------|---|--|
| 平成23年度 シラバス | 学年・期間・区分 | 2年次・通年・A群 | |
| | 対象学科・専攻 | 機械工学科 | |
| 情報処理 I (Information Processing I) | 担当教員 | 三角利之(Misumi, Toshiyuki) 引地力男(Hikiji, Rikio) | |
| | 教員室 | 機械工学科棟 2階 (Tel. 42-9105) 機械工学科棟 1階 (Tel. 42-9103) | |
| | E-Mail | misumi@kagoshima-ct.ac.jp hikiji@kagoshima-ct.ac.jp | |
| 教育形態 / 単位の種別 / 単位数 | 講義・演習 / 履修単位 / 2単位 | | |
| 週あたりの学習時間と回数 | 授業 (100分) × 30回 | | |
| [本科目の目標] 本科目では、様々なソフトウェアの開発に利用されているプログラミング言語、C言語を修得する、文法の理解を目標とする。 | | | |
| [本科目の位置付け] IT技術が発展している現在、技術者に要求されるプログラミング技法の一つである。実際にパソコンでプログラムを実行させ、C言語とハードウェアの操作方法の理解が一層高まる。3年次の情報処理II、4年次の数値解析、5年次の卒業研究に関連している。 | | | |
| [学習上の留意点] プログラム実習での課題は必ず授業中に理解し、レポートにまとめて授業後に提出すること。 | | | |
| [授業の内容] | | | |
| 授 業 項 目 | 時限数 | 授業項目に対する達成目標 | 予習の内容 |
| 1. C言語の概要と開発環境 | 10 | C言語の演習にあたりコンピュータの基礎用語が理解できる。 自分の使う開発環境を理解し、必要に応じた作業ができる。 C言語の基本的な書式を理解し、予約語やライブラリなどが理解できる。 エディターを用いてソースファイルを作成できる。 | p. 1-p. 6の内容について、教科書を読んで概要を把握しておくこと。 |
| 2. PCにおける数値の取り扱い | 8 | 2進数や10進数、16進数などの考え方が理解できる。 10進数から2進数や16進数が計算できる。 データ型の考え方を理解し、必要に応じた型を選択できる。 | p. 7-p. 14の内容について、教科書を読んで概要を把握しておくこと。 |
| 3. 簡単な入出力の取り扱い | 10 | stdio.hを利用した基本的な入出力を理解できる。 キーボードから入力した文字をディスプレイ上に表示できる。 算術演算子を用いた計算が行える。 | p. 15-p. 22の内容について、教科書を読んで概要を把握しておくこと。 |
| ——前期期末試験—— | | 授業項目1～3について達成度を確認する。 | |
| 試験答案の返却・解説 | 2 | 各試験において、間違った部分を理解出来る。 | |
| 4. 制御構造 | 10 | C言語におけるif文やswitch文などの基本的な分岐の概念が理解できる。 C言語におけるdo-while文やwhile文など条件付き繰り返しの概念が理解できる。 C言語におけるfor文などの回数限定繰り返しの概念が理解できる。 | p. 23-p. 42の内容について、教科書を読んで概要を把握しておくこと。 |
| 5. 関数 | 10 | C言語における関数の概念が理解できる。 関数の宣言と呼び出しの概念が理解できる。 引数を理解し、利用することができる。 戻り値のシステムを理解し、利用することができる。 | p. 43-p. 56の内容について、教科書を読んで概要を把握しておくこと。 |

